

モビリティ
「千葉県移動性向上プロジェクト」
「千葉県安全性向上プロジェクト」にて要対策箇所を選定
記者発表資料

**16号柏IC～大島田交差点、357号二俣～若松交差点など
「移動性阻害21箇所」を選定、
6号陣ヶ前交差点、14号(仮称)幕張町4丁目交差点など
「交通安全対策30箇所」を選定し重点的に対策・検討を実施します！**

いろいろなデータや指標を県民の皆様に公表し、県民の皆様とともに「移動性を阻害している箇所」や「交通事故の危険箇所」の選択を行い、成果重視の道路行政を実践する「千葉県移動性向上プロジェクト」及び「千葉県安全性向上プロジェクト」の第3回委員会をば・る・るプラザ千葉にて、平成18年3月20日(月)に同日開催しました。

委員長の千葉工業大学工学部建築都市環境学科 赤羽弘和教授や、各分野の委員の方々よりご意見、ご提言を頂き「移動性阻害21箇所」、「交通安全対策30箇所」を選定しました。

千葉県移動性向上プロジェクト委員会について

審議内容について

第3回委員会では、「パブリックコメント結果の検証」を行い、「移動性阻害箇所」の選定について意見交換を行いました。

委員会における主な意見

パブリックコメント結果、選定結果の公表については、一般の方々に解りやすい様に工夫すること。

今後、パブリックコメントを募集する際には、トラック・バスなどの事業者からヒアリングを実施するなど、より幅広く収集できる様にすべきではないか。

今年度の取り組みとして「移動性阻害21箇所」を選定する。今後も詳細なデータの収集・分析を実施し、箇所の見直しを行うなど引き続き委員会にて議論してゆく。

今後の予定について

今回選定した「移動性阻害21箇所」について重点的に対策検討を実施します。また、この箇所以外でご指摘の多かった箇所についても今後調査を実施する予定です。

千葉県安全性向上プロジェクト委員会について

審議内容について

第3回委員会では、「交通安全対策箇所30の事故分析、対策案の提示、フォローアップ(案)」と「パブリックコメント結果」について意見交換を行いました。

委員会における主な意見

平成16年に県内事故多発ワースト1位となった(仮称)幕張4町丁目交差点は、夜間横断歩道付近が暗いこと、横断歩道の位置などが原因ではないか。

フォローアップでは走行軌跡や、走行速度調査に併せフライング車両(見切り発車)や信号無視車両台数の増減についても対策前後の評価をしてもらいたい。

対策後の評価結果についてパブリックコメントを実施し、多くの方々から意見を集めてもらいたい。

今後の予定について

事故対策案について関係機関と協議・調整し、対策実施後には対策効果の検証を行い公表していく予定です。

本委員会における議事要旨及び資料は、下記HPにおいて掲載しております。

千葉国道事務所HP (<http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/>)

平成18年 3月31日
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

記者発表クラブ
竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ
千葉県政記者クラブ 千葉市政記者クラブ

お問い合わせ先
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所
千葉県移動性向上プロジェクトについては
副所長 河田 博之 調査第一課長 牧野 光芳 電話043-287-0314
千葉県安全性向上プロジェクトについては
副所長 河田 博之 交通対策課長 泉 達也 電話043-285-0339

議事要旨

第3回千葉県移動性向上プロジェクト委員会

開催日時： 平成18年 3月20日（月）13:30～14:45

開催場所： ぱ・る・るプラザ千葉 6階「樺Ⅲ」

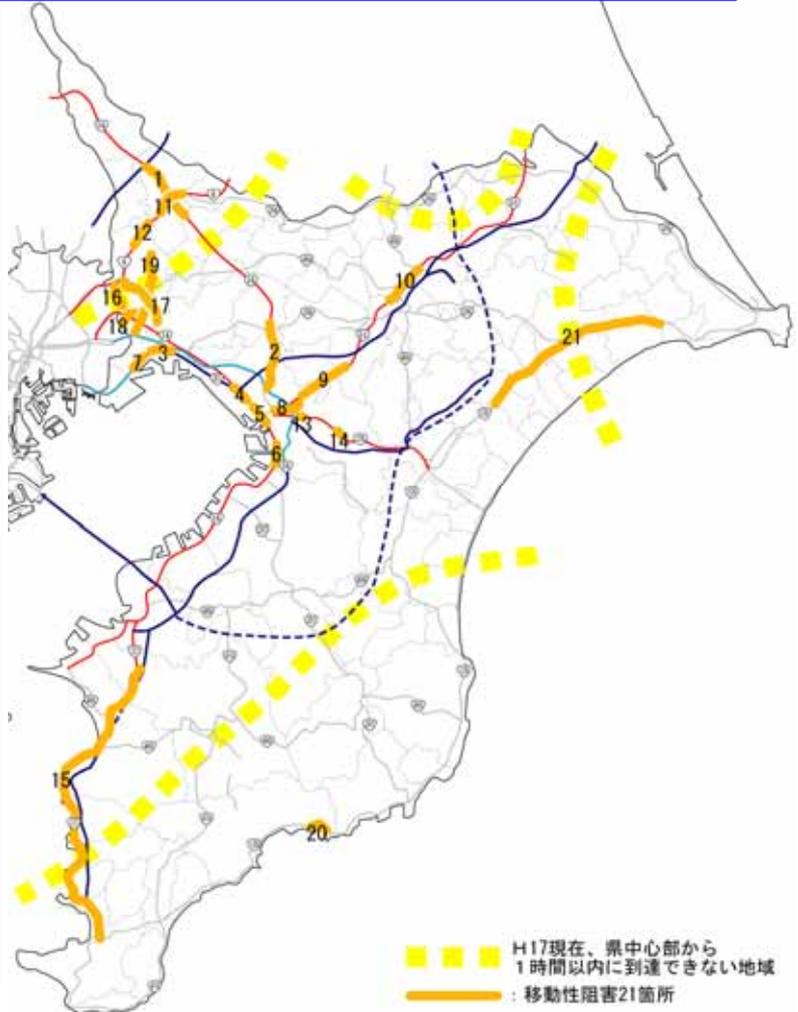
委員会出席者： 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科 教授 赤羽 弘和（委員長）
千葉県警察本部 交通部 交通企画課長補佐 倉本 武夫（代理出席）
千葉県警察本部 交通部 交通規制課管理官 吉田 徳雄（代理出席）
社団法人 千葉県商工会議所連合会 事務局長 小石 まさよ
社団法人 千葉県トラック協会 事務局長 吉川 秀明
社団法人 千葉県バス協会 常務理事 加藤 廣
千葉日報社 取締役業務局長 川名 親
千葉県 県土整備部 道路計画課 主幹 吉本 和男（代理出席）
千葉市 建設局道路部 道路計画課長 深山 裕幸（代理出席）
首都国道事務所 事務所長 吉木 務
東京湾岸道路調査事務所 事務所長 石川 直幸
千葉国道事務所 事務所長 有田 幸司
(敬称略)

- | | |
|------|---|
| 委員 A | ・「センサス」「プローブ調査」などの専門用語は、一般の方々が理解できるよう工夫すること。 |
| 委員 A | ・パブリックコメント結果について、一般の方々に受け入れやすいようにすべき。例えば自分の指摘した箇所が、客観的なデータや他人の意見とどのような関係なのかを簡潔に解るような工夫をしてはどうか。 |
| 委員 A | ・渋滞原因の詳細分析事例の船橋市若松交差点では高速道路高架下の空き用地の中で短期的な対策が打てるのではないかと。 |
| 事務局 | ・橋脚位置など詳細な検討が必要。 |
| 委員 A | ・次年度以降の取り組みについて、渋滞対策を行うにしろ実施から完了までには時間がかかる。その間もどのように計画・検討しているのかを公開していくことにより一般の方々に関心をもってもらうことができる。 |
| 委員 B | ・パブリックコメント結果からみると、30代からの指摘数が多い。広い層から意見を収集できるよう、ヒアリングなどによる調査を行ってはどうか。また、質問形式は出来る限る簡易なものとし回収率を上げる工夫も必要。 |
| 委員 A | ・今回行ったパブリックコメントの結果を分析し、対策に役立つ質問に絞るなど答えやすい選択肢とすべき。 |
| 委員 C | ・事業者として、例えば通常60分で到着するところが70分かかる場合、それが毎月の累計として積み重なれば賃金の増加に繋がる。渋滞解消への取り組みには大いに関心がある。 |
| 委員 A | ・公表するリーフレット案について、より道路利用者の実感に合った指標にすべき。例えば渋滞損失時間の表現として、「意味もなく車に閉じこめられている時間」など。また、全県平均だけでなく、エリア別に分析することにより地域別の特性が現れてくるので検討すること。 |
| 事務局 | ・既存データの分析及びパブリックコメント結果より、前回までに抽出した「21箇所」については確定箇所として重点的に検討を実施。また、この箇所以外にも道路利用者の渋滞意識が高い箇所もあることから、特に指摘の多い箇所について今後調査を実施していきたい。 |
| 委員 | ・各委員より異議なし。 |
| 事務局 | ・今後も引き続き委員会を継続させていただき、ご意見を伺ってまいります。 |

移動性障害21箇所位置図

千葉県移動性向上委員会において、下記の21箇所を要対策箇所として選定しました。

選定箇所名	路線名 または エリア名	<参考> パブリック・コメント 指摘数
1 柏IC～大島田	国道16号	25
2 下市場～六川IC	国道16号	24
3 二俣～若松	国道357号	80
4 千葉西警入口～登戸4丁目	国道357号	22
5 登戸4丁目～寒川大橋	国道357号	10
6 稲荷町3～村田町	国道357号	5
7 市川市区間	国道357号	5
8 桜木町(旧道部)	国道51号	9
9 若松町～坂戸	国道51号	6
10 並木～寺台	国道51号	6
11 旭町～北柏入口	国道6号	6
12 松戸隧道交差点	国道6号	12
13 加曾利交差点	国道126号	9
14 宮田交差点	国道126号	2
15 君津市常代～館山市北条	国道127号	38
16 市川松戸線(市川～松戸区間)	東葛・葛南地域	17
17 松戸原木線(市川～松戸区間)	東葛・葛南地域	10
18 高塚新田市川線(市川市区間)	東葛・葛南地域	4
19 市川柏線(市川～松戸区間)	東葛・葛南地域	10
20 実入トンネル付近	国道128号	5
21 九十九里地域(松尾～旭区間)	国道126号	14



番号は優先順位ではありません。

パブリックコメントにお寄せ頂いたご意見

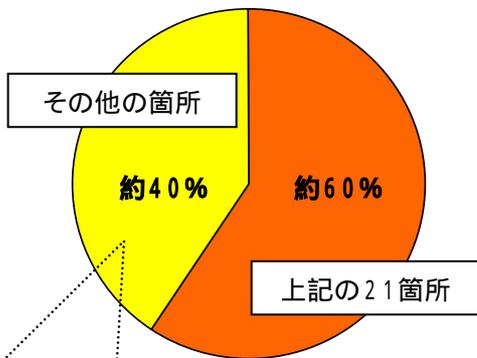
データ分析や地域特性により選定した候補箇所を基に道路利用者の方々からご意見を伺いました。

指摘された箇所の概略図

投票総数: 540件

うち、上記の21箇所 : 319件

うち、その他の箇所 : 221件



その他指摘された主な箇所
 国道296号: 新木戸交差点、実叻街道入口
 県道船橋我孫子線: 駿河台交差点 など

ご指摘を受けたその他の主な箇所についても、調査・データ分析を今後行い、検討を進めます。

パブリック・コメント実施方法
 実施期間: 平成18年1月19日～2月28日(41日間)
 実施媒体: インターネットを活用したアンケート調査
 お寄せ頂いたご意見は“ちばこく”HPで公開しています。



議事要旨

第3回千葉県安全性向上プロジェクト委員会

開催日時：平成18年3月20日（月）15:00～16:15

開催場所：ば・る・るプラザ千葉 6階「樺Ⅲ」

委員会出席者：千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科 教授	赤羽 弘和 《委員長》
千葉県警察本部 交通部 交通企画課長補佐	倉本 武夫（代理）
千葉県警察本部 交通部 交通規制課管理官兼課長代理	吉田 徳雄（代理）
千葉県 環境生活部 交通安全対策課 副主幹	国見 康夫（代理）
千葉県 県土整備部 道路環境課 副課長	黒川 博史（代理）
館山市 市民福祉部 社会安全課 主幹補	福島 裕明（代理）
千葉市 建設局 土木部 部長	田中 富雄
君津市 建設部 管理課 主幹	磯部 光一（代理）
松戸市 市民担当部 生活安全課 専門監	高橋 信安（代理）
富津市 建設部 管理課 課長補佐	石井 勉（代理）
財団法人 千葉県交通安全協会連合会 事業管理課長	鈴木 重夫
社団法人 千葉県安全運転管理協会 専門理事	茂木 一男（代理）
社団法人 千葉県トラック協会 事務局長	吉川 秀明
千葉日報社 取締役業務局長	川名 親
首都国道事務所 事務所 所長	吉木 務
千葉国道事務所 事務所 所長	有田 幸司（敬称略）

- | | |
|-------------|--|
| 委員 A | <ul style="list-style-type: none">・通勤時に毎日体験する渋滞と比べ、パブリックコメントの数が非常に少ないが、ヒヤリ・ハッと体験の頻度が少ないため、仕方が無いと思われる。・インターネットを利用している方とそうでない方、または世代の違いなどにより収集データが偏るため、高齢者などに聞き取りし、代理入力を行うなどの工夫が必要であると思われる。 |
| 委員 B | <ul style="list-style-type: none">・国道14号幕張4丁目を右折する際に、事故が多発している横断歩道付近が暗いため横断歩行者や自転車などを視認しにくいと感じている。そのため、道路照明を明るくすれば事故は削減できるのではないかと思う。 |
| 事務局
委員 A | <ul style="list-style-type: none">・頂いた意見を踏まえ、道路照明についても検討していきたいと思います。・交差点を広げてしまうと、全赤現示の時間が長くせざるを得ない。そうすると、フライングする車両と信号無視する車両が増えてしまう。この幕張4丁目交差点は、コンパクト化を徹底した方が良いと思われるが、コンパクト化するか否かは限定せずに検討を行う必要がある。 |
| 事務局
委員 A | <ul style="list-style-type: none">・この交差点については、県警と十分調整を行いながら検討していきたいと思います。・フォローアップのための走行軌跡や走行速度調査に併せ、従道路側のフライング車両台数や国道側の信号無視車両台数を調査することで、対策実施後、短期での評価を行うことができる。 |
| 委員 A | <ul style="list-style-type: none">・事故対策は、渋滞対策と違い比較的短期間で対策後の事故件数以外の評価を行うことができるため、評価結果についてパブリックコメントを実施し、より多くの方々から意見をまとめていてもらいたい。インターネットでの利用が難しい場合があるため、事業所に出向いて聞き取り調査を実施することを考えてはどうか。 |

交通安全「対策箇所30」位置図

千葉県安全性向上委員会において、下記の30箇所を対策箇所として選定しました。



凡例

対策箇所番号

交差点名

1) 陣ヶ前

3件

ハブリックコメント
投票件数

() 括弧書きは仮称交差点名です。

交通安全「対策箇所30」一覧表

No.	路線番号	交差点名	住所	選定概要
1	国道6号	陣ヶ前	松戸市松戸	
2	国道6号	名都借	流山市名都借844	
3	国道6号	柏駅西口	柏市明原1丁目	
4	国道14号	(仮称)幕張4丁目	千葉市花見川区幕張町4-417	
5	国道16号	(仮称)君津坂田	君津市坂田	
6	国道16号	大堀	富津市大堀1613番地	
7	国道51号	(仮称)飯仲	成田市飯仲	
8	国道127号	(仮称)館山湊	館山市湊字竹の下	
9	国道357号	香澄	習志野市秋津3丁目	
10	国道357号	塩浜	市川市塩浜3丁目	
11	(主)穴川天戸線(72号)	園生十字路口	千葉市稲毛区園生町1042番地	
12	(主)船橋松戸線(9号)	船橋駅北口十字路口	船橋市本町7丁目	
13	(主)市川浦安線(6号)	相之川	市川市新井2丁目	
14	(一)白井流山線(280号)	小金交番	松戸市小金きよヶ丘2丁目	
15	(一)西浦安停車場線(276号)	入船	浦安市美浜1丁目	
16	(主)市原茂原線(13号)	姉崎	市原市姉崎661番地	
17	(一)夷隅瑞沢線(151号)	(仮称)作田	夷隅町作田165番地	
18	(一)岩富山田台線(289号)	沖十文字	八街市沖1495番地	
19	(一)君津大貫線(159号)	(仮称)絹	富津市絹41番地1	
20	(主)松戸野田線(5号)	(仮称)流山IC入口	流山市南234番地	
21	国道14号	新町	千葉市中央区新町	
22	国道126号	(仮称)祐光1丁目	千葉市中央区祐光1丁目1番1号	
23	(一)君津青堀線(158号)	(仮称)久保4丁目	君津市久保4丁目8番26号	
24	国道126号	豊海県道入口	東金市南上宿2丁目	
25	国道51号	上岩橋	酒々井町上岩橋	
26	(主)成田松尾線(62号)	(仮称)三里塚御料	成田市三里塚	
27	(一)正気茂原線(138号)	(仮称)六ツ野	茂原市六ツ野1841番地	
28	(一)成東鳴浜線(121号)	白幡	成東町白幡1602番地	
29	国道410号	下町	館山市館山1026番地	
30	国道128号	(単路)	鴨川市横渚261~1088	

選定概要

死傷事故率や死亡率などが高いことに基づいて抽出された箇所
 死傷事故件数や人口当たりの死傷事故件数が多いことに基づいて抽出された箇所
 アンケート要望、事故危険箇所、あんしん歩行エリア、県警ワースト50などの指標に基づいて抽出された箇所

パブリックコメント実施結果

様々なデータや地域特性により選定した候補箇所をもとに、広く一般の人々からご意見・ご提案をいただきました。

投票総数: 33 件

その他の箇所に関する意見: 12 件

(若松交差点、稲毛駅前、登戸交差点、館山ハイパスなど)

その他の意見: 8 件

(照明設置、歩道整備など)

パブリックコメント実施方法

実施期間: 平成 18 年 1 月 19 日

~ 2 月 28 日 (41 日間)

実施媒体: インターネットを活用した

アンケート調査

事故対策の分析や対策の参考にさせていただき、順次改善していきます。